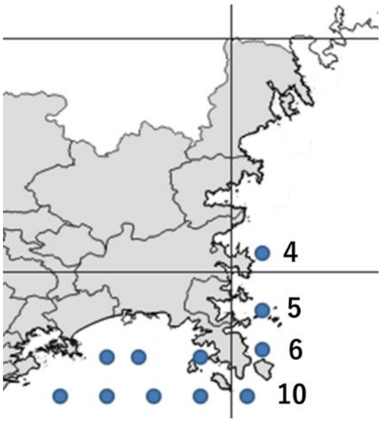
令和３年度 牡鹿半島周辺・以北_貝毒原因プランクトン出現状況（NO.2）

令和３年４月30日
水産技術総合センター

１　調査月日　　令和３年４月２８日
２　調査地点　　右図の４定点
３　概　　要（詳細は下表のとおり）
　１）水　温：表層で11.3～11.7℃の範囲にありました。

　２）貝毒原因プランクトン出現数
　・麻痺性貝毒原因プランクトン（*Alexandrium* spp.）は最も多かった St.５で1,460細胞／L，St.10 で1,140細胞/L確認されました。
　・下痢性貝毒原因プランクトン *Dinophysis. fortii* 及び *D. acuminata* は確認されませんでした。



調査地点図

調査結果表（4定点）

St.	日時 水深 （m）	透明度 （m）	表面水温 (°C)	貝毒プランクトン出現数（細胞／L）							
				Alexandrium spp.		*D. fortii*		*D. acuminata*		他 *Dinophysis*属	
				4月28日	4月13日	4月28日	4月13日	4月28日	4月13日	4月28日	備 考
4	4月28日 11:04 (83)	8.0	11.5	**260**	1,250	**0**	0	**0**	150	**0**	
5	4月28日 10:23 (31)	6.0	11.5	**1,460**	1,770	**0**	10	**0**	20	**0**	
6	4月28日 9:45 (65)	6.0	11.7	**290**	510	**0**	0	**0**	30	**0**	
10	4月28日 9:00 (83)	7.0	11.3	**1,140**	240	**0**	0	**0**	0	**0**	

※貝毒プランクトンサンプルは0～20m層における柱状採水